

2022年5月16日  
日本冶金工業株式会社

## 当社は「川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会」に参画します

川崎市が民間事業者と連携し、川崎臨海部(川崎港)におけるカーボンニュートラル化に向けて新たに設立した官民協議会(※)に当社も参画いたしました。

※「川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会」(兼「川崎港カーボンニュートラルポート形成推進協議会」)

### 1. 背景

当社は脱炭素化社会に向けた世界的な潮流を踏まえ、2030年度におけるCO<sub>2</sub>排出量削減目標を2013年度対比で46%減と設定し、2050年度には実質ゼロを目指しております。

### 2. 協議会の概要

川崎臨海部(川崎港)におけるカーボンニュートラルコンビナート及びカーボンニュートラルポートの形成に向け、官民連携によるプラットフォームを組織し、企業間連携によるプロジェクト創出の取組を行うことを目的に、「川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会」及び「川崎港カーボンニュートラルポート形成推進協議会」が新たに設置され、2022年5月12日に合同の第1回協議会が開催されました。(発足時の民間事業者数は当社を含め56社。詳細は川崎市プレスリリースを参照)

■川崎市プレスリリース(2022.5.13)

<https://www.city.kawasaki.jp/590/page/0000139903.html>

### 3. 今後の展開

川崎臨海部に所在する当社の川崎製造所におきましては、当面は燃料のLNG等への転換を進めるとともに、将来的には合成メタンや水素を使用する新しい燃焼システムの導入を計画しております。協議会が目指す以下の3つの構想(戦略)は、当社が目指す今後の取り組みにも合致するものであり、積極的に協議に参画してまいります。

- ・水素を軸としたカーボンニュートラルなエネルギーの供給拠点
- ・廃プラスチック等のリサイクルによる炭素循環型コンビナート
- ・電気、ガス、水素、蒸気等の企業間連携・ネットワーク化

以上

本件に関するお問い合わせ：グループ環境・知的財産部(電話：044-271-3044)